日本語-ベトナム語機械翻訳における連体修飾構造の翻訳

Nguyen My Chau[†] 池田 尚志[†]

本論文は日本語からベトナム語への機械翻訳システムに関して述べたものである。現在までのところ、日本語とベトナム語との間の機械翻訳システムに関しては、市販の製品もなく、研究文献も無い、本論文はその第1歩としての取り組みである。日本語はSOV型の膠着語であり、ベトナム語はSVO型の孤立語であって、構造的な違いは大きい。我々はその中で、日本語の連体修飾表現とベトナム語の表現との違いに注目し、両言語の対応関係を分析し、機械翻訳規則を提案した。埋め込み文による被修飾名詞が一般名詞の場合、形式名詞「の/こと」の場合について合計714例文について、提案した機械翻訳規則を手で評価した。約87%以上の正解率を得た(ただし、規則適用の際に必要な情報はすべて正しく解析されることを前提としており、その一部には現時点では自動化が困難である情報も含む)。提案した規則は我々の研究室で開発中の日本語-ベトナム語機械翻訳システム jaw/Vietnamese に実装していく予定である。

キーワード: 連体修飾構造, 埋め込み文, 一般名詞, 形式名詞, 構造分類規則, 訳語選択規則, 日本語-ベトナム語機械翻訳

Translation of Adnominal Modification Structures in Japanese - Vietnamese Machine Translation

NGUYEN MY CHAU[†] and TAKASHI IKEDA[†]

This paper is about the machine translation system from Japanese to Vietnamese. So far, there has neither Japanese-Vietnamese machine translation system in the MT software market, nor any research for Japanese to Vietnamese machine translation. This paper aims at being the first step to overcome this situation. Japanese is an agglutinative language with SOV structure and Vietnamese is an isolated language with SVO structure. This produces big difference between Japanese and Vietnamese expression structures. In this paper we focused on the difference between Japanese adnominal embedding structure and its corresponding expressions in Vietnamese. We analyzed the lexical and syntactical relationship between the two languages and proposed machine translation rules for Japanese adnominal embedding structures. We evaluated our rules manually on 714 Japanese embedding sentences. The accuracy was around 87% (however, when applying the rules, we assumed that all the necessary information had been properly analyzed, although partly of the rules are difficult to be implemented automatically at the present moment). The proposed rules are going to be implemented into machine translation system jaw/Vietnamese which is now being developed in our laboratory.

KeyWords: *Adnominal Modification Structures, Embedding Clause, Normal Noun, Nominaliser, Structural Classification Rules, Translation Rules, Japanese - Vietnamese Machine Translation*

1 はじめに

本論文は日本語からベトナム語への機械翻訳に関して、特に名詞句の翻訳規則について述べたものである。

現在、日本語-ベトナム語間の文法的関係を分析した文献はほとんどなく、旅行や日常生活などにおける会話の対訳例文集などがいくつかある程度である。英語-ベトナム語間の機械翻訳に関する研究はあるが、日本語-ベトナム語間の機械翻訳に関する先行研究は全く無い。

本論文では、まず孤立語であるベトナム語の文法的特徴を概観する。次いで膠着語である日本語の連体埋め込み文による名詞修飾表現について整理し、そのベトナム語表現との対応に焦点をあてて分析する。

日本語の名詞修飾は、名詞が名詞を修飾する場合は必ず「の」を介して「N₁ の N₂」という形をとり、動詞、形容詞が埋め込み文となって名詞を修飾する場合は必ず「動詞・形容詞の連体形+名詞」という形をとる。埋め込み文による修飾の場合、具体的な名詞をとらない場合でも必ず代用となる形式名詞「の」「こと」などを置く。このような統語的一貫性は日本語の特徴の一つである。一方、ベトナム語の場合は名詞-名詞修飾にも前置詞の使い分けや語順などの点で様々な表現構造があり、文修飾に関しても関係詞を介して表現する場合(関係節構造)や、何も介せずに直接に修飾する場合(単純修飾構造)や、形式名詞を介して表現する場合(名詞節構造)など様々である。英語の場合と似た面も多いが同じではない。同じ孤立語である中国語では、「的」を介して表現する 경우가多く、ベトナム語とは異なる。このように名詞句の翻訳は日本語-ベトナム語間で構造の違いが大きく、機械翻訳の課題の一つとなる。

現在、日本語から他の諸言語への翻訳を行うパターン変換型機械翻訳エンジン jaw が開発されている(今井, 高木, 酒井, 謝, ト, Samantha, T., Nayana, E., Nguyen, M. C., 池田 2003)。jaw/Vietnamese は jaw をエンジンとする日本語-ベトナム語機械翻訳システムであり、その第 1 版を開発中である。本論文で提案する名詞句の翻訳規則は jaw/Vietnamese に組み込むことを前提としており、現在その一部を実装している。本論文で提案する翻訳規則の評価は手作業で行った。概略 87%以上の正解率(5.1 の脚注参照)を得ることができた。

ところで、最近の機械翻訳の研究では、大規模な電子化対訳コーパスが使えるようになってきたことから、用例ベースの手法や統計的手法が盛んであり、その有効性が示されはじめている。我々もこのような手法は有効であると考えているが、コーパスベースの方法にはきわめて大量の対訳コーパスが必要である。現実存在するそのような大量コーパスのほとんどは現在のところ英語を含む言語対についてのものであり、残念ながら日本語-ベトナム語のような言語対に関しては我々の知る限りでは全く無い(英語-ベトナム語の対訳コーパスについては報告がある(Dinh and Hoang 2003))。日本語-ベトナム語に関してコーパスベースの方法を適用するのは今後の課題としなければならない。しかし、将来大量の対訳コーパスが使用可能になった

† 岐阜大学工学研究科, Graduate school of Engineering, Gifu University

としても、我々はコーパスベースの方法だけで質の良い翻訳システムができるとは予想していない。本論文で述べるような各言語の構造と言語対間の対応関係进行分析して得られる翻訳規則と、大量の対訳コーパスを利用して得られるデータとが補間しあって質の良い翻訳システムが得られると考えている(田中 2004)。さまざまな側面からのアプローチが補間しあって翻訳が遂行されるということは、人間の脳内処理でも同様であろうと予測する。

論文の構成は次の通りである。第2章ではベトナム語の名詞句の構造を述べ、第3章では埋め込み文による日本語の連体修飾構造、日本語の形式名詞の特徴を述べる。第4章では日本語の連体埋め込み修飾表現のベトナム語への機械翻訳方法を説明する。ここでは埋め込み文が修飾される名詞が一般名詞である場合と形式名詞「の/こと」である場合を分け、考察した。第5章では第4章の翻訳規則を例文に適用し、手作業による翻訳の評価実験と問題点の考察を述べる。第6章では論文のまとめを述べる。

2 ベトナム語の名詞句の構造

ベトナム語の文法構造の概要については付録Bに簡単にまとめた。ここでベトナム語名詞句の構造について簡単に述べる。

(1) 語順

ベトナム語では名詞を修飾する語句は名詞の後ろに置かれるが、類別詞と数量表現は前に置かれる(図1)。孤立語であり、性、数、人称によって名詞が変化することはない(Nguyen, M. C., 今井, 酒井, 池田 2002)

図1 ベトナム語の名詞句の構造

名詞句:= 数量句 + 集合詞 + 類別詞 + N + 形容詞句 + 指示詞 + { 前置詞(場所)
+ 名詞(場所) } + { 前置詞 + 名詞 }

数量句:= (数詞 | 数量形容詞) + { 単位 | 容器 }

形容詞句:= 程度副詞 + 形容詞 + { 比較詞 + 名詞句 }

<1> この古い本 → quyển sách cũ này.
類別詞 本 古い この

<2> 図書館のこの5箱のとても古い本

5 thùng sách rất cũ này của thư viện
5 箱 本 とても 古い この の 図書館

表 1 ベトナム語の名詞句を修飾する要素

カテゴリ	ベトナム語の名詞句の構造	日本語での表現
類別詞	類別詞 + N	N (は)
指示詞	N + 指示詞 (này, đó / kia, ấy)	指示詞 + N (この, その, あの)
集合詞	集合詞 + N (các, những, mấy, mọi) 集合詞 + N + 指示詞 (các, những, mấy, mọi) (này, đó / kia, ấy)	すべての + N これら + の + N それら
形容詞句	N + 形容詞	形容詞 + N
	N + 副詞 (程度) + 形容詞	副詞 (程度) + 形容詞 + N
	N + 指示詞 + 形容詞	指示詞 + N は/が + 形容詞
	N + 形容詞 + 指示詞	指示詞 + 形容詞 + N
	数量形容詞 (量の存在) + N (nhiều, ít)	N が + 形容詞 (多い, 少ない)
	N + 程度副詞 + 形容詞 (rất, quá, thật là)	程度副詞 + 形容詞 + N (とても, ずいぶん, すごく, 本当に)
数詞	数詞 単位 容器 + N 数詞 + 単位 容器 + N	数詞 + 助数詞 単位 容器 + の + N 数詞 + 単位 容器 + の + N
	数量 + 容器 + N + 量 + 単位 + 指示詞	指示詞 + 数量 + 容器 + の + 量 + 単位 + N
	数量 + 容器 + 量 + 単位 + N + 指示詞	指示詞 + 数量 + 容器 + の + N は 量 + 単位
並列名詞句	N ₁ + 並列接続助詞 + N ₂ (và, với, cùng với)	N ₁ と N ₂
	N ₁ + 並列接続助詞 + N ₂ (hoặc, hay, hay là)	N ₁ か/とか/あるいは N ₂
前詞置句	N + 前置詞 + N ₁ (của/ở/từ/đến)	(所有)=[N ₁ の N], (所在)=[N ₁ の N], (方向)=[N ₁ からの/への N], [N ₁ からの~までの N],
	[前置詞 + N ₁] + N (ở/ tại) 注: N ₁ = (位置, 方向名詞) = (trên, dưới, trong, ngoài, giữa, trước, sau, trái, phải)	N の N ₁ + に 注: N ₁ = (位置, 方向名詞) = (上, 下, 内, 外, 中, 前, 後, 左, 右)

(4) 埋め込み文による名詞修飾

形容詞あるいは静態動詞¹によって名詞を修飾する場合は、それらを名詞の後ろに置くだけの単純な構造をとる (<9>). 動態動詞¹によって名詞を修飾する場合は関係詞 [mà] を介する関係節構造をとる (<10>). 英語では関係詞は who, whom, which, that など多くあるが、ベトナム語では [mà] 1 語のみである.

<9> 彼は壊れたラジオを捨てた.

Anh ấy đã vứt cái radio (đã) hư.

彼 過去 捨てる 類別詞 ラジオ 過去 壊れる

<10> 井上さんが書いた本はとても面白かった.

Quyển sách mà Inoue đã viết rất hay.

類別詞 本 関係詞 井上 過去 書く とても 面白い

3 日本語の連体修飾構造

(1) 語順

日本語では名詞を修飾する構造 (連体修飾構造) には次の3種類がある. いずれの場合でも修飾する語句は名詞の前に置かれる².

- ① 指示詞/形容詞 + N 「あの本」「きれいな人」
- ② 「名詞 + の + N」 「母の手紙」「土曜の夜」
「名詞 + 格助詞 + の + N」 「母からの手紙」
- ③ 埋め込み文 + N 「海を渡ってくる風」
「逮捕されたのは…」

埋め込み文を受ける名詞 N としては、一般名詞の他に形式名詞「の」や「こと」などもある. 本論文では③の埋め込み文による連体修飾構造のベトナム語への翻訳が中心の課題である (4 節).

(2) 埋め込み文による名詞修飾

日本語の埋め込み文による名詞修飾に関しては、研究者によって様々の用語が使われている. 名詞を修飾する文については「埋め込み文/ 埋め込み節/ 連体修飾節/ 連体節/ 補足節」など、また修飾される名詞についても「主名詞/ 被修飾名詞/ 底の名詞」などいろいろの呼ばれ方がなされている (井上 1976; 野田 1995; 益岡, 田窪 1992; 奥津 1974; 藤本, 表, 池原, 村上 2001)

¹ 状態を表す動詞を「静態動詞」、それ以外の動詞を「動態動詞」と呼ぶ.

² その他に「鉛筆 5 本」のように数量修飾が名詞の後ろに来る表現もある.

．本論文ではそれぞれ「埋め込み文」,「被修飾名詞」と呼ぶ．また, この構造を「連体修飾構造」と呼ぶ．

埋め込み文と被修飾名詞の意味的關係はいろいろあるが, 統語的には同一の構造である．被修飾名詞は埋め込み文の後ろに置かれ, 埋め込み文中の述語(動詞, 形容詞など)の活用形は連体形となる．

{ 述語(動詞, 形容詞, 形容動詞)の連体形 + 名詞 }

埋め込み文と被修飾名詞の間には意味的關係から3つの種類がある．

① 内の関係

<11> 太鼓をたたく 子供

② 外の関係

<12> 太鼓をたたく 音

③ 埋め込み文の名詞化

<13> 太鼓をたたく の は楽しい．

<11> では被修飾名詞「子供」と埋め込み文の用言「たたく」との間に「子供が太鼓をたたく」という格関係が成り立つ．一方, <12> では被修飾名詞「音」にどのような格助詞を付けても, 連体修飾節中に埋めることができない．前者のような関係を「内の関係」, 後者のような関係を「外の関係」と呼ぶ．「内の関係」は英語の「関係節」に対応する．「外の関係」は英語の「同格節」に対応する(寺村 1991; 野田 1995)．<13> は被修飾名詞が形式名詞「の」である場合で, 「太鼓をたたく」という事柄全体が名詞化されて, 「の」がその代用名詞として使われている構造である．

(3) 形式名詞「の」と「こと」

<13> の「の」は形式名詞「こと」で置き換えることができる．しかし, <14> の「の」は「こと」で置き換えることができず, <15> の「こと」は「の」で置き換えることができない．

<14> けさ, 飛行機が飛んでいく の を見た．

<15> 鯨が哺乳類である こと が証明された．

このように「の」と「こと」の使い分けについては微妙な問題があり, これまでにいくつかの研究がある(久野 1973; 工藤 1985; 名柄, 広田, 中西 1987; 佐治 1993; 野田 1995; 益岡 1997; 池原, 村上, 車井 2002)．例えば, 久野(1973) 佐治(1993) は「こと」が名詞の「事柄・抽象化された概念を表す」のに対して, 「の」は五感によって直接体験される具体的動作, 状態, 出来事を表すと分析している．また, 坪本(1984) 橋本(1990) は「の」だけが用いられる文については, 「同時性」「同一場所生起」といった関係があると分析している．しかし, まだ議論はつ

づいており、確定した見解はない。

形式名詞「の」は高度に抽象化された概念を表現する日本語に特有の名詞であり、他言語への翻訳に際してはこの訳し分けの処理が必要となる。本論文では形式名詞「の/こと」による埋め込み文のベトナム語への機械翻訳について4節で述べるが、そこでは工藤(1985)の分析を参考にした。

4 日本語の連体埋め込み修飾表現のベトナム語への機械翻訳

日本語の埋め込み文による連体修飾構造とそのベトナム語における表現との対応について考察する。日本語の埋め込み文による連体修飾構造はすべて次のような構造をとる。

{ 述語 (動詞, 形容詞, 形容動詞) の連体形 } + 被修飾名詞

多くの例文について分析した結果、この日本語表現のベトナム語への翻訳には、以下に述べるようないくつかの場合があることを見出した。まず、被修飾名詞が一般名詞の場合には、関係詞 [mà] を伴って表現される場合 (関係節構造) と、伴わない場合 (単純修飾構造) との2つの場合がある。

(1) 関係節構造

{ 先行詞 (被修飾名詞) + 関係詞 [mà] + 埋め込み節述部 }

<16> 昨日あなたが会った人は私の弟です。

Người mà anh đã gặp hôm qua là em trai của tôi.

人 (先行詞) 関係詞 あなた 過去 会う 昨日 だ 弟 の 私

(2) 単純修飾構造

被修飾名詞 + 埋め込み節述部

<17> お寺がたくさんある町が好きです。

(Tôi) thích phố có nhiều chùa.

(私) 好き 町 ある たくさん お寺

被修飾名詞が形式名詞 (の, こと等) の場合には、関係節構造と単純修飾構造をとる場合の他にそのまま名詞化する名詞節構造と副詞節構造に翻訳する場合が加わる。なお、本論文では形式名詞としては「の」と「こと」について考察する。

(3) 関係節構造

{ 先行詞 + 関係詞 [mà] + 埋め込み節述部 }

<18> 逮捕されたの は山田社長だ.

Người mà đã bị bắt là giám đốc Yamada.
 の(人) 関係詞 過去 受身 逮捕する だ 社長 山田

(4) 単純修飾構造

形式名詞 + 埋め込み節述部

<19> こんな安いの が買いたいです.

(Tôi) muốn mua cái rẻ như thế.
 (私) 願望 買う の(もの) 安い こんな

(5) 名詞節構造

形式名詞 + 埋め込み節述部

<20> 交渉がまとまること を祈った.

(Tôi) đã cầu nguyện việc đàm phán đạt kết quả.
 (私) 過去 祈る こと 交渉 まとまる

(6) 副詞節構造

(接続詞 1) + 埋め込み節 + 接続詞 2 + 従属節

<21> 欠席したの は病気のためです.

Sở dĩ (tôi) đã vắng mặt là vì bệnh.
 所以 (私) 過去 欠席する ため 病気

形式名詞「こと」に関してはすべて (5) の名詞節構造に翻訳される．形式名詞「の」に関しては (3)～(6) のどの構造に翻訳すべきかという構造分類規則が必要になる．さらに、「の」の場合には (3)(4)(5) においてどのような先行詞，被修飾名詞，形式名詞に翻訳するかという訳語選択の問題が生じる．「こと」の場合には (5) において同じく訳語選択の問題が生じる．本節では，4.1 で構造分類規則について述べ，4.2 で訳語選択規則について述べる．

4.1 構造分類規則

4.1.1 一般名詞に対する連体埋め込み修飾構造

一般名詞に対する日本語の連体埋め込み修飾構造に対して、ベトナム語において関係節構造になるか単純修飾構造になるかについては、次のような判定法を見出した。

(1) 関係節構造

以下の場合には日本語の連体埋め込み修飾構造はベトナム語では関係節構造で表現される。

- [1] 被修飾名詞と連体埋め込み節が「内の関係」にあり、かつ埋め込み節の述語が動態動詞である場合。日本語文における被修飾名詞がベトナム語の文の先行詞となる。

<22> 太郎になぐられた 子供 が入院しています。

Đứa bé mà đã bị Taro đánh thì đang nằm viện.

子供 関係詞 過去 受身 太郎 なぐる だ 進行 入院する

(2) 単純修飾構造

(1) 以外の場合には日本語の連体埋め込み修飾構造はベトナム語では単純修飾構造で表現される。単純修飾構造は関係詞 [mà] を介さずに、後続する述節がそのまま直接被修飾名詞を修飾する構造である。(1) 以外の場合を分類すると次のような場合があげられる。

- [2] 被修飾名詞と埋め込み節が「外の関係」にある場合。

<23> パンのこげる におい → mùi bánh mì cháy

におい パン こげる

- [3] 被修飾名詞と埋め込み節は内のある関係にあるが、埋め込み節の述語が静態動詞、形容詞、形容動詞である場合。

<24> 学校に通う 道 → con đường đến trường

道 通う 学校

<25> 壁にかけてある 絵 → bức tranh treo trên tường

絵 かける に 壁

<26> ダンスが出来る 熊 → con gấu biết múa

類別詞 熊 出来る ダンス

4.1.2 形式名詞「の」に対する連体埋め込み修飾構造

同様に被修飾名詞が形式名詞「の」の場合について分析した結果、ベトナム語の関係節構造、単純修飾構造、名詞節構造、副詞節構造への分類について、次のような判定法を見出した。

(1) 関係節構造

次のいずれかの場合には、日本語の連体埋め込み修飾構造はベトナム語では関係節構造で表現される。

- ① 日本語が強調構文「～ V/Adj の は/が N です」である場合 (<27>).
- ② 被修飾形式名詞「の」と連体埋め込み節が「内の関係」にあり、かつ連体埋め込み節の述語が動態動詞である (<28>).

<27> 花びんを壊した の はトムです.

Người mà đã làm vỡ bình hoa là Tom.
 の(人) 関係詞 過去 壊す 花びん である トム

<28> 今日、収穫した の はまだ青すぎる.

Hôm nay, cái mà đã thu hoạch thì vẫn còn xanh quá.
 今日 の(もの) 関係詞 過去 収穫する だ まだ 青 すぎる

(2) 単純修飾構造

以下の③あるいは④の場合には、ベトナム語では単純修飾構造をとる。

- ③ 被修飾形式名詞「の」と連体埋め込み節が「内の関係」にあり、かつ連体埋め込み節の述語が静態動詞、形容詞、形容動詞である場合 (<29>, <30>).
- ④ 日本語が形式名詞「の」を用いた強調構文「N は～の が～」である場合 (<31>).

<29> 古い の はおいしくない.

Cái cũ thì không ngon.
 の(もの) 古い である 否定 おいしい

<30> 卵の中に割れた の がまじっていた.

Ở trong trứng có cái (đã) bể lẫn vào.
 に 中 卵 ある(もの) 過去 割れる まじる

<31> りんごは赤い の がいい.

→ 赤いりんごが いい.

Táo đỏ thì ngon.
 りんご 赤い である いい

③の場合は埋め込み節が「状態・属性」などを表現し、ほとんどの場合は「もの」を修飾する。従って、被修飾名詞としては、訳語「cái(もの)」を用いれば良く、ここでは訳し分けの問題は生じない。

④は一般論・普遍的な結果・習慣・自然の傾向・社会的な習慣・常識の例などを表現する日本語の強調構文である。しかし、ベトナム語にはそれに対応する強調構文は無く、通常の叙述

文として表現するほかない。<31> ではベトナム語では「りんご」を主題とする表現にはならず「赤いりんごがいい」という通常の構文に翻訳される。

(3) 名詞節構造

(1) と (2) 以外の場合すなわち形式名詞「の」と埋め込み文が「外の関係」にある場合には、ベトナム語では名詞節構造をとる。次の2つの場合がある。

(a) そのままで直接に名詞節になる場合。

<32> 彼は仕事に夢中で帰る の を忘れた。

Mê mãi với công việc nên anh ấy đã quên về.
夢中 に 仕事 で 彼 過去 忘れる 帰る

(b) 名詞化を受ける形式名詞を必要とする場合。

<33> 彼は海外旅行した の を後悔している。

Anh ấy đang hối hận việc đã đi du lịch nước ngoài.
彼 進行 後悔する の(こと) 過去 旅行する 海外

以下では、(a) の場合を直接名詞節、(b) の場合を間接名詞節と呼ぶ。間接名詞節で使われるベトナム語の形式名詞には [điều], [việc], [sự] など10語ほどがある。

我々は、多くの日本語例文をベトナム語に翻訳して、この2つの場合の区別について考察した。その結果、ベトナム語の名詞節構造の区別と日本語の「の」と「こと」の使い分けの問題が強く関連していることを見出した。工藤(1985)によれば、日本語の「の」と「こと」の使い分けは主節の動詞の性質と次のように関連している(野田1995)。

A. 主節の動詞が次のいずれかである場合には「の」が使われる。

1. 感覚動詞(視覚, 聴覚活動に関する動詞)

見る, 見える, 見物する, 眺める, 見守る, 聞く, 聞こえる,

2. 動作性動詞(動作に関することを表す動詞)

待つ, 手伝う, さえぎる, 会う, 助ける, 直す, 遅れる, 止まる,

B. 主節の動詞が次のいずれかである場合には「こと」が使われる。

1. 思考動詞: 思う, 考える, 理解する, 悟る, 信じる, 従う,

2. 伝達動詞: 言う, 話す, 聞く, 書く, 読む, 知らせる, 伝える,

3. 意思動詞: 命じる, 禁じる, 許す, 望む, 決める, 約束する,

4. 表示動詞: 示す, さす, 指摘する, 証明する, ほのめかす,

C. その他の場合には、「の」、「こと」いずれも使われる。

1. 認知動詞：発見する，感じる，知る，分かる，覚える，思い出す，
2. 態度動詞：喜ぶ，悲しむ，驚く，期待する，賛成する，あきらめる，
3. その他：やめる，よす，避ける，防ぐ，

我々は，これらの動詞が使われる約 140 例文をベトナム語に翻訳して分析してみた。その結果，表 2 に示すように，ベトナム語で直接名詞節となるか間接名詞節となるかということを，工藤の分類と対応して整理することができた。原則的には，日本語の表現で「の」だけが使われる場合は直接名詞節構造をとるということ，その他の場合は間接名詞節構造をとるということである。以下の注に示すように，完全に対応しているわけではなく，若干の違いも見られる。

また，工藤による「の」と「こと」の使い分けの分類は曖昧と思われる場合もしばしばあり，必ずしも厳格なものとは言えないようである。例えば，主節の動詞が思考/伝達/意思/表示であるのに，「の」を用いる場合も観察される。

例えば，「信じる」は思考動詞であり，「こと」が使われるとなっているが，例 <35> のように「の」が使われることもある。この場合でもベトナム語の翻訳は間接名詞節構造であり，[việc] を使う。つまり，表 2 のベトナム語への翻訳規則は「の」が使われているか「こと」が使われているかということに直接対応するのではなく，動詞の分類に対応する規則である。

<34> 私はサンタクロースが来る こと を信じている。

Tôi tin việc ông già Noel đến.
私 信じる こと サンタクロース 来る

<35> 私はサンタクロースが来る の を信じている。

Tôi tin việc ông già Noel đến.
私 信じる の サンタクロース 来る

注 1：ここでは「の/こと」と埋め込み文の述語が外の関係にある場合について分析している。内の関係の場合には，(1)(2) で述べたように関係節構造あるいは単純節構造になる。

注 2：動作性動詞の場合は一般に直接名詞節構造となるが，「さえぎる，直す」のように間接名詞節構造となる場合もある。

<36> 彼がしゃべろうとする の をさえぎった。

(Tôi) đã cắt ngang điều anh ta định nói.
(私) 過去 さえぎる の(こと) 彼 意志 しゃべる

注 3：意志動詞の場合は一般に直接名詞節構造となるが，「許す」のように間接名詞節構造とな

表 2 主文の動詞の分類に基づく「の/こと」の使い分け (工藤 1985) とベトナム語の名詞節構造

工藤 (1985) の分析				ベトナム語の名詞節構造 (直接名詞節 / 間接名詞節) (注 1)
主節の動詞	A グループ (の)	B グループ (こと)	C グループ (の・こと)	
感覚	見る, 見える, 見物する, ながめる, 見守る, 聞く, 聞こえる,			直接名詞節
動作性	待つ, 手伝う, 助ける,			直接名詞節 (注 2)
思考		思う, 考える, 理解する, 悟る, 信じる, 疑う,		間接名詞節
伝達		言う, 話す, 聞く, 書く, 読む, 知らせる, 伝える,		間接名詞節
意志		命じる, 禁じる, 望む, 決める, 約束する,		直接名詞節 (注 3)
表示		示す, さす, 指摘する, 証明する, ほのめかす,		間接名詞節
認知			発見する, 感じる, 知る, 分かる, 覚える, 思い出す,	直接名詞節
態度			喜ぶ, 悲しむ, 驚く, 期待する, 賛成する, あきらめる,	感情動作を表す動詞 (好む, 嫌う, 嫌がる, 怖がる, 恐れる, 耐える, 我慢する, こらえる) の場合. 直接名詞節 (注 4)
				上欄以外の場合 間接名詞節
停止 (*)			やめる, よす, 避ける, 防ぐ.	間接名詞節

(*) 工藤は「その他」として分類しているが、ここではこれらを「停止動詞」と呼ぶ。

る場合もある。

<37> 彼がやった こと を許した。

(Tôi) đã tha thứ việc anh ta đã làm.

(私) 過去 許す こと 彼 過去 やる

また、「決める」のように直接名詞構造でも間接名詞構造でもどちらも可能であるものもある。

<38> 明日東京に行く こと を決めた.

(Tôi) đã quyết định đi/việc ngày mai đi Tokyo.

(私) 過去 決める こと 明日 行く 東京

注4: 感情動作を表す動詞「こらえる」などについては工藤は特に分類していないが、態度動詞の中に含めているものと思われる。ベトナム語ではこのような動詞が主節の動詞である場合には直接名詞節構造で表現される。

<39> 私も笑いが出そうになる の をこらえています.

Tôi cũng đang cố nén tiếng cười sắp sửa phát ra.

私 も 進行 こらえる 笑い そうになる 出す

表2には、主節の述語が形容詞、形容動詞である場合が含まれていないが、これらの場合にはベトナム語では直接名詞節構造で表現される。

<40> 部屋に花がない の は寂しい.

Trong phòng không có hoa thì buồn.

に 部屋 ない 花 である 寂しい

<41> 彼は泳ぐ の が得意だ.

Anh ấy (thì) giỏi bơi lội.

彼 だ 得意 水泳

また、「～のは～からです」と「～のは～のためです」のような原因・理由を述べる強調構文の場合は、間接名詞節構造で表現される他に、副詞節構造で表現される場合も多い。これらの場合を含めて、形式名詞「の」「こと」が埋め込み文と「外の関係」にある場合のベトナム語での名詞節構造の表現について、以下のように整理することができる。

直接名詞節構造となるのは以下の場合である

- ① 主節の述語が感覚動詞、意志動詞である場合.

<42> 太郎が花子と話した の を見た.

(Tôi) đã thấy Taro nói chuyện với Hanako.

(私) 過去 見る 太郎 話す と 花子

- ② 主節の述語が「待つ、手伝う、助ける」というような動作性動詞である場合.

<43> 彼が帰る の を待つ.

(Tôi) đợi anh ấy trở về.

(私) 待つ 彼 帰る

- ③ 主節の述語が認知動詞である場合.

<44> 本をもってくるのを忘れた.

(Tôi) đã quên mang sách đến.

(私) 過去 忘れる もつ 本 来る

- ④ 主節の述語が感情動作を表す動詞「好む, 嫌う, 嫌がる, 怖がる, 恐れる, 耐える, 我慢する, こらえる」などの場合.

<45> 犯人は捕まるのを恐れて逃げた.

Kẻ tội phạm sợ bị bắt nên đã chạy trốn.

犯人 恐れる 捕まる て (原因) 過去 逃げる

- ⑤ 主節の述語が形容詞/形容動詞である場合.

<46> 時のたつのは早い.

Thời gian trôi qua (thì) nhanh.

時 たつ である 早い

<47> テレビでボクシングを見るのが好きです.

(Tôi) thích xem quyền anh trên Tivi.

(私) 好き 見る ボクシング で テレビ

間接名詞節構造となるのは以下の場合である

- ① 主節の動詞が態度動詞である場合 (ただし「好む, 嫌う, 嫌がる, 怖がる, 恐れる, 耐える, 我慢する, こらえる」などの感情動詞は除く).

<48> 母は息子が大学に合格したの/ことを喜ぶ.³

Mẹ vui mừng việc con trai thi đậu đại học.

母 喜ぶ の/こと 息子 合格する 大学

- ② 主節の動詞が思考動詞, 伝達動詞, 表示動詞, あるいは「やめる, よす, 避ける, 防ぐ」など (ここでは停止動詞と呼ぶ) である場合.

<49> 他人を悪く言うの/ことをやめて下さい.

Hãy bỏ việc nói xấu người khác.

下さい やめる の/こと 言う 悪く 他人

- ③ 「～のは～からです」/「～のは～のためです」というような理由・原因を表す強調構文の場合.

<50> カゼをひいたのは天気は急に変換したからだ.

Nguyên nhân (tôi) đã bị cảm là do thời tiết đã thay đổi bất ngờ.

の (原因) (私) 過去 カゼ だから 天気 過去 変換する 急に

3 以上①, ②の場合は, 工藤の分析にあるように日本語では「こと」が多く使われる。しかし, 例 <48>, <49> のように「の」が使われる場合もあるようである。

<51> このマグロを買った^①の^②は刺身を食いたいからです。

Lý do (tôi) đã mua Maguro là do (tôi) muốn ăn Sasimi.

の(理由)(私) 過去 買う マグロ だ から (私) 願望 食べる 刺身

(4) 副詞節構造

③の場合はベトナム語では副詞節構造でも表現できる。

原因・理由を表現する副詞節構造では埋め込み節が主節になり、原因の場合も理由の場合も同一の構文 [*Sở dĩ* S_{main} V_{main} là vì S_{sub} V_{sub}] で表現できる。機械翻訳の角度から考えれば、[nguyên nhân (原因)] [lý do (理由)] の訳し分けを考える必要がないから便利であるし、ベトナム語側においても副詞節による表現は名詞節構造の③よりよく使われている。

<52> カゼをひいた^①の^②は天気が急に变换したからだ。

Sở dĩ (tôi) đã bị cảm là vì thời tiết đã thay đổi bất ngờ.

所以 (私) 過去 カゼ から 天気 過去 変換する 急に

<53> このマグロを買った^①の^②は刺身を食いたいからです。

Sở dĩ (tôi) đã mua Maguro là vì (tôi) muốn ăn Sasimi.

所以 (私) 過去 買う マグロ から (私) 願望 食べる 刺身

(1)(2)(3)(4) の分析を表 3 にまとめた。

4.2 訳語選択規則

4.2.1 日本語の形式名詞「の」に対するベトナム語の先行詞、形式名詞、被修飾名詞の決定法

前節の表 3 の判定条件①②⑩⑪⑫には、それぞれベトナム語の先行詞、形式名詞が必要になるが、これは日本語の原文には直接的には表現されていない。従って、日本語の構文と意味用法あるいは文脈を考慮して決定する方法が必要になる。

以下では埋め込み節の主語を S_{sub} 、述語を V_{sub} (動詞)、 Adj_{sub} (形容詞/形容動詞) と呼ぶ。また、主節の主語を S_{main} 、述語を V_{main} (動詞)、 Adj_{main} (形容詞/形容動詞) と呼ぶ。

4.2.1.1 関係節構造における先行詞の決定法

表 3 の条件①は「 $\sim V_{sub}/Adj_{sub}$ のは/が N です」という強調構文であり、N は V_{sub} と「内
の関係」にある。英語では N を先行詞として [It is N who/which /that V_{sub}] という表現もありえるがベトナム語では、[N' mà V_{sub}/Adj_{sub} thì/là N] という形の表現をとる。[mà] は関係詞である。[thì/là] は「である」という連結詞である (<54>, <55>, <56>).

N' は先行詞であり、名詞 N の上位概念を表す名詞が置かれる。N' としては [người(人)], [vật(物品/植物)], [cái(無生物)], [con(動物)], [nước(国)], [việc(こと)] の 6 種類がある。従って、日本語からベトナム語に翻訳する際には、N の上位概念として適切なのはこの 6 種類のう

表 3 形式名詞「の」による埋め込み節構造のベトナム語表現への対応

区分	日本語の構造	「の」の訳語	翻訳例
関係節	① 強調構文「～V/Adj のは/が N です」.	先行詞 [người, vật, cái, con, nước, việc, điều, những gì]	花びんを壊した ^の はトムです。 [Người] mà đã làm vỡ bình hoa là Tom. の(人) 関係詞 過去 壊す 花びん である トム
	② 被修飾形式名詞「の」と連体埋め込み節が「内の関係」にあり、かつ連体埋め込み節の述語が動態動詞.		太郎が説明した ^の が分からなかった。 (Tôi) đã không hiểu [điều] mà Taro đã giải thích (私) 過去 否定 分かる の(こと) 関係詞 太郎 過去 説明する
単純修飾	③ 被修飾形式名詞「の」と連体埋め込み節が「内の関係」にあり、かつ連体埋め込み節の述語は静態動詞あるいは形容詞、形容動詞.	cái	赤い ^の を見せてください。 Hãy cho xem [cái] màu đỏ. ください 見せる の(もの) 赤い
	④ 形式名詞「の」を用いた強調構文「N は～の が～」.	日本語の主題名詞 N	りんごは赤い ^の がいい。 [Táo] đỏ thì ngon. りんご 赤い である いい
名詞節	被修飾形式名詞「の」と連体埋め込み節が「外の関係」にある		太郎が花子と話した ^の を見た。 (Tôi) đã thấy Taro nói chuyện với Hanako. (私) 過去 見る 太郎 話す と 花子
	直接名詞節	φ	家が揺れる ^の を感じた。 (Tôi) đã cảm thấy cái nhà lắc lư. (私) 過去 感じる 類別詞 家 揺れる
			時のたつ ^の は早い。 Thời gian trôi qua (thì) nhanh. 時 たつ (である) 早い
			母は息子が大学を合格する ^の を喜ぶ。 Mẹ vui mừng [việc] con trai thi đậu đại học. 母 喜ぶ の(こと) 息子 合格する 大学
			花子が太郎に来月結婚する ^の を知らせた。 Hanako đã thông báo [việc] tháng sau Taro kết hôn. 花子 過去 知らせる の(こと) 来月 太郎 結婚する
	間接名詞節	形式名詞 [điều, sự, việc]	交通事故が起こった ^の は不注意のためです。 [Sự] tai nạn giao thông đã xảy ra [là vì] không chú ý. 所以 事故 交通 過去 起こる ため 不 注意
副詞節	⑫ 「～のは～からです」/ 「～のは～のためです」というような構文.		

表 4 [～V_{sub}/ Adj_{sub} のは/が N です] をベトナム語の関係節構造に翻訳する場合の先行詞の決定規則

順	主節における名詞 N の意味属性	先行詞 N'
1	人/ 人名/ 不定称「だれ」.	người
2	物品/ 植物	vật
3	無生物/ 名詞「何」/ 名詞「これ、それ、あれ」.	cái
4	動物.	con
5	国名.	nước
6	その他.	việc

ちのどれであるかを判断すればよい。これは N の意味属性から決めることができる。機械的な判定条件を表 4 に示す。意味属性としては日本語語彙大系(池原, 宮崎, 白井, 横尾, 中岩, 小倉, 大山, 林 1997)を参考にした。

<54> 死んだ^のはその黒い猫です。

Con **mà** đã chết là con mèo đen đó.

の(動物) 関係詞 過去 死ぬ である 類別詞 猫 黒い その

<55> 環境問題についてよく関心を持っている^のは日本だ。

Nước **mà** quan tâm nhiều đến vấn đề môi trường là Nhật.

の(国) 関係詞 関心する よく について 問題 環境 だ 日本

<56> クラスの中で一番親切な^のは田中さんだ。

Ở trong lớp **người** **mà** từ tế nhất là Tanaka.

で 中 クラス の(人) 関係詞 親切な 一番 だ 田中

表3の条件②は [(S_{main} は) S_{sub} が V_{sub} + のを/が+ V_{main}] と [(S_{sub} が) V_{sub} + のは/が+ V_{main}/Adj_{main}] という構文である。「の」は V_{sub} と「内の関係」にある。「V」は動態動詞である。N'は先行詞であり、N'に対しては [điều(こと)], [việc(こと)], [cái(もの)] という3つの訳語候補がある (<57>, <58>, <59>).

<57> 太郎が説明した^のが分からなかった。

(Tôi) đã không hiểu **điều** **mà** Taro đã giải thích

(私) 過去 否定 分かる の(こと) 関係詞 太郎 過去 説明する

<58> 彼がやった^のは間違っていた。

Việc **mà** anh ta đã làm là sai lầm.

の(こと) 関係詞 彼 過去 やる である 間違う

<59> 昨日母が作った^のはとてもおいしかった。

Hôm qua **cái** **mà** mẹ đã nấu thì rất ngon.

昨日 の(もの) 関係詞 母 過去 作る である とても おいしい

<57> における N' = [điều] は埋め込み節が述べている「太郎が説明した」その発話の内容を名詞化して表現するときに使う(この場合には、日本語では「の」を使うこともあるが、「こと」を使う場合も多い)。この場合は、埋め込み節の動詞が「伝達」という意味属性をもつことから判定することができる。

<58>, <59> において [việc] は「こと」を表し, [cái] は「もの」を表す。ベトナム語へ翻訳するためには、「の」が「こと」を表すのか、「もの」を表すのかを判断しなければならない。それには [V + の] が係る述語の格パターン規則を調べれば、ある程度判定できる。

しかし、ベトナム語には [những gì(そのもの/そのこと)] という総括的意味を表す語があり、先行詞 N' = [cái] と [việc] に対しては [những gì(そのもの/そのこと)] を代用することができる。

以上の分析をまとめると、機械的な判定条件は表5になる。

表 5 関係節構造におけるベトナム語の先行詞の決定規則

順	条件	先行詞 N'
1	埋め込み節の動詞が伝達動詞の意味属性をもつ場合.	việc
2	その他.	những gì

4.2.1.2 名詞節構造における形式名詞の決定法

表 3 の条件⑤⑥⑦⑧⑨の場合は形式名詞が不用であるが、条件⑩⑪⑫の場合は必要である。条件⑩⑪⑫の場合に使われるベトナム語の形式名詞としては [điều (こと)] [sự (こと)] [việc (こと)] [nguyên nhân (原因)] [lý do (理由)] の 5 つがある。これらの使い分けに関しては次のように分析することができる。

4.2.1.2.1 Điều / Sự / Việc

(1) Điều

[Điều] は話者の思考・精神的状況を表現しているとき、その状況そのものを名詞化して表現する場合に使う。この場合には、日本語では「の」を使うこともあるが、「こと」を使う場合も多い。

<60> 残念な の は彼が成功しなかった。

Điều đáng tiếc là anh ấy đã không thành công.
 の 残念な だ 彼 過去 否定 成功する

(2) Sự

[Sự] は物事の状態・性質を表現しているとき、その状態・性質そのものを名詞化して表現する場合に使う。

<61> 皆戦争が悲惨な の を悲しんだ。

Mọi người đã đau khổ sự tàn khốc của chiến tranh.
 皆 過去 悲しむ の 悲惨な の 戦争

(3) Việc

[Việc] は埋め込み節で述べている事柄そのものをそのまま名詞化する場合に用いる。

<61> 彼はプロポーズが断われた の を悲しんだ。

Anh ấy đã đau khổ việc lời cầu hôn đã bị từ chối.
 彼 過去 悲しむ の プロポーズ 過去 受身 断わる

表 6 名詞節構造におけるベトナム語の形式名詞の判定条件

順	条件	処理
1	埋め込み節の述語が「感情状態」の意味属性をもつ場合.	điều
2	埋め込み節の述語が「属性」の意味属性をもつ場合.	sự
3	その他.	việc

<60>における[điều]は話者の思考・精神的状況を名詞化して表現する.[sự]を用いる<61>では「悲しむ」の対象は「悲惨な」という状態であり、その状態を名詞化している.[việc]を用いる<62>では「悲しむ」の対象は「プロポーズが断われた」という事実であり、その事実を名詞化している.

以上は、主節の述語が対象とする内容についての分析であり、埋め込み節の述語の意味属性から表6に示すように判定することができる.

4.2.1.2.2 Nguyên nhân/Lý do

(1) Nguyên nhân

[nguyên nhân]は、予測できない、不幸なこと、すなわち良くない状態・望んでいないことの原因を述べるときに使われる.

<63> 交通事故が起こった[の]は不注意のためです.

Nguyên nhân tai nạn giao thông đã xảy ra là do không chú ý.
の 事故 交通 過去 起こる だ ため 不 注意

(2) Lý do

[lý do]は主体が目的意識を持って行った行為の理由を述べるときに使われる.

<64> 東京に来た[の]はあなたに会いたかったからです.

Lý do (tôi) đã đến Tokyo là do (tôi) đã muốn gặp anh.
の (私) 過去 来る 東京 だ から (私) 過去 願望 会う あなた

日本語でも「原因」という言葉と「理由」という言葉を区別して使うが、[nguyên nhân]と[lý do]の違いは、この「原因」と「理由」の違いに対応している.<63>では埋め込み節は「交通事故」が生じた事を述べているが、これは予測し難くまた望んでいないことであり、それを説明するとき日本語でも「理由」ではなく「原因」という言葉を使う.「原因」は「理由」より客観性が強い.日本語でも「交通事故の原因」とは言うが、「交通事故の理由」とは言わない.ベトナム語でも[lý do]ではなく[nguyên nhân]を使う.

<64>では、「東京に来た」という目的意識をもった行為を述べているが、その主観的な事情

を説明するとき日本語でも「理由」という言葉を使う。日本語でも「東京に来た理由」とは言うが、「東京に来た原因」とは言わない。ベトナム語でも [nguyên nhân] ではなく [lý do] を使う。

(1) と (2) の区別が明確でない場合には, [nguyên nhân] と [lý do] のどちらでも使われる。日本語でも「原因」と「理由」のいずれでも可能な場合と対応している (<65>)(Nguyen, Imai and Ikeda 2004)

<65> 彼が怒った[□]の[□]は私が10分遅れたからです。

Lý do/nguyên nhân anh ấy đã giận là do tôi đã trễ 10 phút.

の 彼 過去 怒る だから 私 過去 遅れる 10分

一方, ある原因で良い結果を得ることを表現するとき, あるいは目的意識を持っていない行為の理由を述べるとき, ベトナム語では副詞節構造 [Sở dĩ ~ là vì ~] で表現する (<66>, <67>). この表現では, 強調の意味が表現できないが, ベトナム語では名詞節構造よりよく使われる。

<66> 彼らがクラブで出会ったのは趣味が似ているからです。

Sở dĩ họ đã gặp tại câu lạc bộ là vì sở thích giống nhau.

所以 彼ら 過去 出会うで クラブ から 趣味 似る

<67> 彼が急に金持ちになった[□]の[□]は宝くじに当たったからだ。

Sở dĩ anh ấy đột nhiên đã trở nên giàu là vì đã trúng số.

所以 彼 急に 過去 なる 金持ち から 過去 当たる 宝くじ

以上に分析したように, 表3の条件⑫「～のは～からです」と「～のは～のためです」の原因・理由に関する強調構文の場合は, [nguyên nhân] / [lý do] を使った名詞節構造による表現, あるいは副詞節構造による表現がある。しかし, [nguyên nhân] / [lý do] の訳し分けの判定条件を見出すことは難しい。従って, 現在のところ我々はこれらを副詞節構造に翻訳することとする。[nguyên nhân] / [lý do] の判定条件については今後の課題である。

4.2.2 日本語の形式名詞「こと」に対するベトナム語の翻訳規則

4.1 で述べたように日本語の「～こと」の構文はベトナム語では名詞節構造になる。その場合ベトナム語での名詞化を受ける形式名詞には [điều] [việc] [ø(形式名詞は不要: 直接名詞節構造)] の3つの場合がある。その訳し分け規則を表7にまとめた。

[điều], [việc] の意味用法については4.2.1.2.1 に述べた。直接名詞節構造となるのは埋め込み文が「AがBであること」という表現のとき (<69>), あるいは「～ことは～ことだ」という表現のとき (<70>) である。

なお, 「こと」に関しては, 述語節と結びついて多くの慣用的表現があるが, これについては

表 7 埋め込み節における「こと」の翻訳規則

順	条件	「こと」の訳語
1	埋め込み節の述語あるいは主節の述語が伝達動詞。 埋め込み節の述語が「感情状態」の意味属性をもつ場合.	điều
2	埋め込み節の述語が「である」.	φ
3	主節の文末が「ことだ」.	
4	主節の述語が感覚動詞, 意志動詞, 認知動詞, 感情動詞.	
5	主節の述語が形容詞, 形容動詞.	
6	埋め込み節の述語が「属性」の意味属性をもつ場合.	sự
7	その他.	việc

表 8 「こと」の用法とベトナム語表現

形式		日本語の表現	翻訳
1	V(た)ことがある	経験	đã từng V
2	V(た)ことがない		chưa từng V
3	V ことがあったら	仮定	nếu như V
4	V ことがある	事態の有り	có khi V / có lúc V
5	V ことがない	否定	không V
6	V(ている)ことになる	事態の反復	V
7	V ことになる	予定	sẽ V
8	V ことにする	決定	quyết định V
9	V ことができる	可能	có thể V / biết V
10	V ことが必要である	必要	cần phải V
11	V ことによる / V ことによって / V ことで	方法・手段	bằng cách V
12	V ないこと. (文末)	命令 (禁止)	không được V
13	V こと. (文末)	命令 (必須)	phải V
14	V ことが多い / 少ない. (文末)	頻度・反復	thường hay V / ít V
15	V ことから (文中)	原因	vì V

一連の表現として翻訳規則を考えることとしている (表 8).

<68> 彼は私がすべての言う こと を信じる.

Anh ấy tin tất cả điều tôi nói
彼 信じる すべて こと 私 言う

<69> その人は実は泥棒であることが分かった.

(Tôi) đã hiểu người kia thực ra là kẻ trộm.
(私) 過去 分かる 人 その 実は である 泥棒

<70> 真価を認める こと は 難しいことだ.

Công nhận chân giá trị là khó.
認める 真 価 だ 難しい

本章で用いた条件記述のためのカテゴリ等の一覧を表 9 に示す. ①, ②については日本語語

表 9 各条件記述のためのカテゴリ等の一覧

カテゴリ		カテゴリのメンバー	
①	名詞の意味属性		
②	動詞の意味属性		
③	動詞の分類	A	感覚動詞
			動作性動詞
			思考動詞
			伝達動詞
			意志動詞
			表示動詞
			認知動詞
			態度動詞
			感情動詞
			停止動詞
		B	静態動詞
			動態動詞
④	被修飾名詞と埋め込み節の関係	1	内の関係
		2	外の関係

彙大系 (池原他 1997) の意味属性を用いた。③、④ については、実験の際にどのような基準で分類したかについて第 5 章で述べる。

5 翻訳実験と評価・考察

図 2 に日本語の連体埋め込み修飾表現をベトナム語での表現に翻訳する手順をまとめた。図 2 の条件①～⑫は表 3 の条件①～⑫を指す。また、条件 [1] は 4.1.1 節の条件 [1] を指す。図 2 は「こと」については含んでいない。(「こと」については表 7 参照)。

合計 714 例文を手作業で評価した。例文は日本語文法に関する文献 (奥津 1974; 井上 1976; 森田 1980; 工藤 1985; 名柄他 1987; 益岡, 田窪 1992; 益岡 1997) や和英辞典の用例などから抽出した。評価に用いた例文の出典の詳細は付録 A に示す。

以下の 4 つの基準で評価した。

- 正解。
- △ 間違いではないが、我々の規則によるよりふさわしい訳がある (慣用的表現の場合など)。
- × 不正解。
- 我々の考察の範囲外であった表現の場合。

なお、これらの翻訳規則を適用していく際、表 9 に示した意味属性や分類については次のように処理した。

表 9 の①名詞の意味属性、②動詞の意味属性については日本語語彙大系 (池原他 1997) を人

図 2 日本語の連体埋め込み修飾表現へのベトナム語の対応処理

手で引いて適切なものを選んだ。日本語語彙大系に登録されていない単語については人手で適切な意味属性を与えた(例えば、「視覚障害者」「宇宙人」「帰還兵」など)。

表9の③Aの動詞の分類のうち「動作性動詞」、「停止動詞」については人手で判断した。「態度動詞」と「感情動詞」は日本語語彙大系の分類では「感情動作」に分類されるが、「感情動作」を「態度動詞」と「感情動詞」に分類することとは人手で行った。この再分類の基準は今のところ機械にできる形にはなっていない。その他の分類は日本語語彙大系の分類と重なっており、それを用いた。

表9の③Bの静態動詞/動態動詞への分類については、日本語語彙大系の用言意味属性で「状

態」および「属性変化」とされているものを静態動詞，それ以外のものを動態動詞とした。また，機能語「～やすい/～にくい/～たい」などによって形容詞化されている場合，および「～ている/～てある」によって状態を表現している場合も静態動詞とした。「～ている」に対して機械で完全に判定できるようにするのは難しい。

④の「内の関係」/「外の関係」の判定は，格要素となるか否かが基準になるが，本実験では人手で行った。機械で行うための方法としては(藤本他 2001)の研究がある。

5.1 被修飾名詞が一般名詞の場合

714 例文のうち，被修飾名詞が一般名詞の 262 例文に関して図 2 の条件 [1] について評価した(表 10)。正解率 88.2%⁴が得られた。

表 10 被修飾名詞が一般名詞の場合の構造分類規則の評価

合計 262 文	○	△	×	□
	231	5	26	0
割合 (%)	88.2 %	1.9 %	9.9 %	0 %

(1) 不正解(×)になった 26 文は

① 条件 [1] によって関係節構造であるが，単純修飾構造になる。

<71> 捨てられた子供たちを支援する仕事をやりたい。

<72> 突進する車の煽りで木がゆれた。

② 条件 [1] に当てはまらないが，関係節構造になる。

<73> 私が覚えている銀座は現在よりにぎやかではなかった。

<74> 彼は専門家が顔負けするような技術の持ち主だ。

(2) (△) になった 5 文は慣用的表現であり，よりふさわしい別の訳がある。

<75> これはきみの腕をふるう機会だ。

現訳：[cơ hội vẫy tay (腕をふるう機会)]

慣用的表現：[cơ hội bằng vàng (金のような機会)]

⁴ ただし，本章と 6 章で述べる正解率は規則適用の際に必要な情報はすべて正しく解析されることを前提としており，その一部には現時点では自動化が困難である情報も含む。

5.2 被修飾名詞が形式名詞「の」の場合

714 例文のうち、被修飾名詞が形式名詞「の」の 374 例文に関して図 2 の条件①～⑫について評価した (表 11, 表 12). 構造分類規則と訳語選択規則の正解率はそれぞれ 87.7%と 95.4%であった.

5.2.1 構造分類規則の評価と考察

表 11 被修飾名詞が形式名詞「の」の場合の構造分類規則の評価

合計	374 文	○	△	×	□
		328	0	31	15
割合 (%)		87.7%	0%	8.3%	4.0%

(1) 不正解 (×) になった 31 文は

a. 条件①によって関係節構造となるが、正しくは名詞節構造である (16 文).

条件①の「～ V/Adj の は/が N です」において N が以下のような場合

* N が「こと」という名詞である場合. (4 文)

<76> 自分の意見がはっきり言える の は大切なことだ.

<77> 春がめぐってくる の も間もないことでしょう.

* N が時量/時点/順番/回数などを示す場合. (4 文)

<78> 休憩する の は10分です.

<79> 地下鉄に乗る の は初めてです.

* その他. (8 文)

<80> 食後にお茶を飲む の は日本人の習慣だ.

<81> 時流に抗する の は損だ.

b. 条件②によって関係節構造となるが、正しくは単純修飾構造である. (4 文)

<82> 川魚の焼いた の はおいしい.

c. 規則⑨によって直接名詞節構造となるが、正しくは間接名詞節構造である. (5 文)

<83> 皆が反対した の はおかしい.

現訳: [φ]

正訳: [việc(こと)]

d. 表2の注2, 3で述べたように主節の動詞が意志動詞, 動作性動詞の場合は, 「許す」, 「さえぎる」のように例外的に間接名詞節構造に翻訳する. (規則⑤: 1文, 規則⑥: 5文)

<84> 学校で腕力をふるう の を許してはならない. (規則⑤)

現訳: [φ]

正訳: [việc(こと)]

<85> 彼がしゃべろうとする の をさえぎった. (規則⑥)

現訳: [φ]

正訳: [điều(こと)]

(2) □とした15文は我々の考察の範囲外であった表現であり, 別に規則を定める必要がある.

a. 引用「～V+というのはN/Adjだ」. (5文)

下のような文は, 名詞節構造に翻訳するのがふさわしい.

<86> 彼がまだ生きているというのは確かです.

Tin cho rằng anh ấy vẫn còn đang sống là chính xác.

情報によると 彼 まだ 進行形 生きる だ 確か

b. 主節の述部が「(～の)と同じNだ」という形である場合はNを先行詞とする関係節構造になる. (2文)

<87> これは私がドイツで買った の と同じライターです.

Cái này thì giống cái bật lửa mà tôi đã mua ở Đức.

これ だ 同じ 類別詞 ライター 関係詞 私 過去 買う で ドイツ

c. 主節の述語が「なる」の場合(遅くなる, 元気になる, 春になる…)と「かかる」(時間がかかる/お金がかかる…)の場合は, 表3の条件として考察の範囲外であった. (6文)

文<88>では, 日本語の埋め込み述語をベトナム語では主節の述語にするのが通常の表現となる. 文<89>では, 関係節構造ではなく, 名詞節構造とするのが正しい.

<88> 今日は10分学校が始まる の が遅くなる.

Hôm nay trường học bắt đầu trễ 10 phút.

今日 学校 始まる 遅く 10 分

<89> あまり見ない漢字は思い出す の に時間がかかる.

(Việc) gọi nhớ lại Kanji ít nhìn thấy thì mất thời gian.

の 思い出す 漢字 あまり 見ない だ かかる 時間

d. 連体埋め込み節が「(そう)いう/(どう)いう」のような表現は, 表3の条件として考察の範囲外であった. ベトナム語では連体詞的な名詞節構造となる. (2文)

< 90 > そういうのは今までない.

Cho đến nay việc/cái như thế không có
 今まで   の   そんな   ない

5.2.2 訳語選択規則の評価と考察

構造分類規則で正しく分類された文 (総数 328 文) に対して訳語選択規則を評価した。正解率は 95.4%であった。

表 12 形式名詞「の」のベトナム語への訳語選択規則の評価

	規則	A	B	評価結果			
				○	△	×	□
先行詞 (関係節構造)	①	72	56	52	0	1	3
	②	15	11	10	1	0	0
被修飾名詞 (単純修飾構造)	③	18	18	11	4	3	0
	④	2	2	2	0	0	0
形式名詞 (名詞節構造)	⑤	40	39	39	0	0	0
	⑥	20	15	14	1	0	0
	⑦	21	21	21	0	0	0
	⑧	14	14	14	0	0	0
	⑨	104	99	99	0	0	0
	⑩	36	36	34	2	0	0
	⑪	13	13	13	0	0	0
	⑫	4	4	4	0	0	0
副詞節構造	⑫	4	4	4	0	0	0
我々の考察の範囲外の表現 (□)		15	0	0	0	0	0
合計		374	328	313	8	4	3
割合 %				95.4 %	2.4 %	1.2 %	0.9 %

A: 分類された文数.

B: A のうち正しく分類された文.

(1) 不正解 (×) になった 4 文は

a. 規則①: 名詞 N の意味属性についての判断の誤り. (1 文)

<91> 夫の帰宅が遅い の が彼女の不平の種だ.

現訳: [cái(もの)]

正訳: [việc(こと)]

b. 規則③: 規則ではすべて [cái(もの)] に翻訳するが、構造や文脈で反例もあった.

* 日本語の特別な構造. (1 文)

<92> お茶の熱い の をください.

現訳: [cái(もの)]

正訳: [φ]

* 文脈の問題. (2 文)

<93> 動物園にはダンスできる の があります.

現訳: [cái(もの)]

正訳: [con (動物)]

(2) (△) になった 8 文は我々の規則によるより自然でふさわしい訳語がある. (規則②: 1 文, 規則③: 4 文, 規則⑥: 1 文, 規則⑩: 2 文)

<94> その店に気に入っている の がある. (規則②)

現訳: [những gì(そのもの)]

より適訳: [cái (もの)]

<95> きみはこの雑誌の古い の をお持ちですか. (規則③)

現訳: [cái(もの)]

より適訳: [tờ(枚)]

(3) □とした 3 文は構造分類規則で①と判定したが, 適用できる訳語選択規則が現在のところ表 4 に整理されていない.

<96> 太郎が花子に会った の は東京だった.

「の」= [nơi(場所)]

5.3 被修飾名詞が形式名詞「こと」の場合

714 例文のうち, 被修飾名詞が形式名詞「こと」の 78 例文に訳語選択規則を評価した (表 13). 正解率 88.5% が得られた.

表 13 形式名詞「こと」のベトナム語への訳語選択規則の評価

合計 78 文	○	△	×	□
	69	0	2	7
割合 (%)	88.5%	0%	2.6%	8.9%

(1) 不正解 (×) になった 2 文は表 7 の規則 6 で「こと」は [sự] に翻訳するが, 習慣的に「大切なこと」は [điều quan trọng] (<98>), 「ありがちなこと」は [thói thường] (<99>) と翻訳する.

<98> 人生で最も大切なことは何ですか.

現訳: [sự(こと)]

正訳: [điều(こと)]

<99> 若者にはありがちなことだが、彼も悪い習慣におちいった。

現訳: [sự(こと)]

正訳: [thói(慣)]

(2) □とした7文は我々の考察の範囲外であった表現。

<100> 母は息子から長いこと 便りが無いと言った。

「長いこと」= [đã lâu ngày(長い間)]

<101> 早朝のサイクリングほど気持のよい こと はない。

「ほど〜こと はない」= [không có gì ~ bằng](絶対的比較)

<102> 本当の こと を言うと、彼は赤の他人なのです。

「本当の こと」= [sự thật(本当)]

5.4 その他の考察

日本語の埋め込み文による連体修飾表現の翻訳の問題としては、本論文で考察したベトナム語での構文選択、訳語選択の問題の他に、埋め込み文中の述部のテンス・アスペクトをどう翻訳するかという問題もある(<103>, <104>). これらの問題については今後の課題である。

<103> 活気のない顔をしている彼を見つけた。

(「ている」はこの場合は現在形として翻訳する)

<104> 日本の旗を掲げた船を見た。

(「た」はこの場合は現在形として翻訳する)

6 おわりに

本論文は日本語からベトナム語への機械翻訳のための連体修飾構造を中心に述べた。

日本語では埋め込み文による修飾は「連体形の動詞/形容詞+名詞」という構造的には単一の形をとるが、ベトナム語では関係節構造や名詞節構造などいくつかの構造をとるため、その構造分類規則が必要になる。さらに、先行詞や名詞化のための形式名詞などについての訳語選択規則が必要になる。本論文では、これらのことについて分析し、翻訳規則を提案した。提案した規則により714日本語例文について人手で評価した。被修飾名詞が一般名詞の場合(262文)の構造分類規則の正解率は88.2%であった。被修飾名詞が形式名詞「の」の場合(374文)では構造分類規則と訳語選択規則の正解率はそれぞれ87.7%と95.4%を得た。被修飾名詞が形式名

詞「こと」の場合(78文)の訳語選択規則の正解率は88.5%であった。これらの結果から、埋め込み文による連体修飾構造のベトナム語への機械翻訳に関して有効な手がかりが得られたと考えている。

今後は、今回の分析で考察の範囲外となった表現、埋め込み文の述部のテンス・アスペクトを翻訳する問題、文脈の問題なども含めて、さらに翻訳精度が上がるように分析を深めていく予定である。また、我々の研究室で開発している日本語-ベトナム語機械翻訳システム jaw/Vietnamese への実装も進めていく予定である。

謝辞

本論文で述べた翻訳規則は現在、我々の jaw/Vietnamese システムの枠組みの中に組み込んでいる段階である。システムの開発を行ってきた今井啓允氏(2004年3月修士課程終了)、酒井美和氏(2003年3月卒)、宇野修一氏(修士課程2年生)、田中友樹氏(修士課程1年生)、浅井良信(修士課程1年生)及びその他の研究室の皆様に感謝します。

参考文献

- Cao, X. H., Hoàng, X. T., Nguyễn, V. B., and Bùi, T. T. (2000).
Ngữ pháp Chức năng Tiếng Việt, quyển 1. Nhà Xuất Bản Giáo Dục.
- Diệp, Q. B. and Hoàng, D. (2001). *Ngữ pháp tiếng Việt*. Nhà Xuất bản Giáo Dục.
- Dinh, D. and Hoang, K. (2003). "POS-Tagger for English-Vietnamese Bilingual Corpus." In *HLT-NAACL 2003 Workshop: Building and Using Parallel Texts Data Driven Machine Translation and Beyond*, pp. 88-95.
- 橋本修 (1990). "補文標識「の」「こと」の分布に関わる意味規則." 国語学, p. 163.
- 藤本敬史, 表克次, 池原悟, 村上仁一 (2001). "埋め込み文の日英翻訳方式について: 内と外の関係の判断方法." 情報処理学会第63回全国大会, 6Y-3 巻, pp. 265-266.
- 池原悟, 宮崎正弘, 白井諭, 横尾昭男, 中岩活巳, 小倉健太郎, 大山芳史, 林良彦 (1997) 日本語彙大系 1:意味体系. 岩波書店.
- 池原悟, 村上仁一, 車井登 (2002). "日英機械翻訳のための日本語抽象名詞の文法的・意味的用法の分類." 自然言語処理, 9 巻, pp. 117-134.
- 今井啓允, 高木優紀江, 酒井美和, 謝軍, 卜朝暉, Samantha, T., Nayana, E., Nguyen, M. C., 池田尚志 (2003). "日本語からアジア諸言語への機械翻訳の試み." 情報処理学会第65回全国大会論文集, 5 号, pp. 363-366.
- 井上和子 (1976). "変形文法と日本語(上)". 大修館書店.
- 工藤真由美 (1985). "ノ, コトの使い分けと動詞の種類." 国文学 解釈と鑑賞, 50 巻.
- 久野すすむ (1973). "日本文法研究". 大修館書店.

益岡隆志 (1997). 複文. くろしお出版.

益岡隆志, 田窪行 (1992). 基礎日本語文法則.

宮地宏, サイモン遠藤陸子, 小川信夫 (1991) 外国人のための日本語例文・問題シリーズ 17: 修飾. 荒竹出版.

森田良行 (1980) 基礎日本語 2-意味と使い方. 祥文堂.

名柄すすむ, 広田紀子, 中西家栄子 (1987) 外国人のための日本語例文・問題シリーズ 2: 形式名詞. 荒竹出版.

Nguyen, M. C., Imai, Y., and Ikeda, T. (2004). "Translation of Adnominal Embedding Clause in Japanese-Vietnamese Machine Translation." pp. 41-44.

Nguyen, M. C., 今井啓允, 酒井美和, 池田尚志 (2002). "日越語の構造比較と jaw/Vietnamese による日越機械翻訳." 第 1 回 FIT 年次大会, pp. 175-176.

Nguyen, M. C., 酒井美和, 今井啓允, 池田尚志 (2003). "日越機械翻訳システム jaw/Vietnamese における名詞句の処理." 言語処理学会第 9 回年次大会発表論文集, pp. 437-440.

野田春美 (1995) 宮島達夫, 仁田義雄 (編), 日本語類義表現の文法 (下). くろしお出版.

奥津敬一郎 (1974) 生成日本文法論. 大修館書店.

佐治圭三 (1993). "「の」の本質: 「こと」「もの」との比較から." 日本語学, 12 卷.

田中穂積 (2004). "機械翻訳システムのブレイクスルーを求めて." アジア太平洋機械翻訳協会講演会レポート. <http://www.babel.co.jp/mtsg/aamt0406/aamt0406.htm>.

寺村秀夫 (1991) 日本語のシンタクスと意味. くろしお出版.

富田健次 (2000) ベトナム語の世界. 大学書林.

坪本篤郎 (1984). "文の中に文を埋めるときコトとノはどこが違うのか." 國文学: 解釈と教材の研究, 29 卷.

付録

A 例文の出典について

実験に用いた例文の出典を表 14, 15, 16 に示す. 言語学の文献 (表 14 の 1~4, 表 15 の 1~6) からとった例文は, それぞれの文献の中で連体修飾構造について述べてある部分の例文の中から, 該当する構造を含む文をランダムに選択した. 和英辞典からの例文は辞典中の用例文の中で該当する構造を含む文をランダムに選択した. 英作文の例文集からの例文も同様に該当する構造を含む文をランダムに選択した.

表 14 被修飾名詞が一般名詞の場合の例文の出典

	出典	例文数	例
1	奥津 1974	27	「僕が昨日銀座で食べたうなぎ」(p87) 「あの子供がひかれた自動車」(p149)
2	井上 1976	33	「お寺がたくさんある町。」(p169) 「戸をこじ開ける音がした。」(p197)
3	益岡, 田窪 1992	2	「花子が学校を休んだ原因」(p200) 「魚が焼けるにおいがする。」(p204)
4	宮地ほか 1991	6	「宝くじが当たった喜びでなかなか眠れなかった。」(p79) 「東京に着いた翌日, 恩師を訪ねた。」(p80)
5	講談社の和英辞典	194	「突進する車の煽りで木がゆれた。」 「この本は読む価値がある。」 「これは個人の名誉に関する問題だ。」 「頭の痛くなる話ばかりで参った。」 「これはきみの腕をふるう機会だ。」 「日本語の「渋い」にあたる英語はない。」 「陛下のお膝下である東京。」 「きみの行く末が思いやられる。」 「とらの威をかるきつね」 「彼は殺された父の敵を討った。」
合計		262	

B ベトナム語の文法構造の特徴

ベトナム語は、孤立語型の言語であり語形の変化はなく、主要な文法関係は語順 SVO で表現される。文字についてはフランス語の影響を受けており、29 文字のアルファベット (図 3) と 6 つの声調表記 (図 4) を組み合わせて表現する。

図 3 ベトナム語のアルファベット

a	ã	â	b	c	d	đ	e	ê	g	h	i	k	l	
m	n	o	ô	ơ	p	q	r	s	t	u	ư	v	x	y

図 4 ベトナム語の 6 声調表記

なし	↘	?	～	↗	●

表 15 被修飾名詞が形式名詞「の」の場合の例文の出典

	出典	例文数	例
1	工藤 1985	14	「君が来るのを一番喜んでいるのは僕の父なのだ。」 (p48) 「母親が迎えに行くのが当然だろうが。」 (p52)
2	益岡, 田窪 1992	8	「漢字を覚えるのは難しい。」 (p182) 「飛行機が飛んでいくのが見えた。」 (p183)
3	益岡 1997	8	「僕も笑いが出そうになるのをこらえていました。」 (p22) 「彼が横に座るのを歓迎した。」 (p22)
4	名柄はか 1987	6	「私が質問したのは経済の問題についてだ。」 (p80) 「自分の意見がはっきり言えるのは大切なことだ。」 (p83)
5	宮島 1995	2	「この写真を撮ったのは妹だ。」 (p419) 「私が後悔したのは、連絡を忘れたことだ。」 (p420)
6	森田 1980	21	「腐ったのは食べられません。」 (p152) 「卵の中に割れたのがまじっていた。」 (p152)
7	講談社の和英辞典	264	「そう思うのは大間違いだ。」 「戸にかぎを掛けるのを忘れた。」 「お茶の熱いのをください。」 「その古い橋を渡るのは危ない。」 「彼に大金を預けるのは危ない。」 「皆が反対したのは言うまでもない。」 「生きているのがいやになった。」 「膚の荒れるのを防ぐにはこのクリームがよく効く。」 「行けないのはきみのほうだ。」 「その国の礎を築いたのは彼だ。」
8	英作文の基本文例集*	51	「今朝、地震で家がゆれるのを感じた。」 「花びんをこわしたのはトムです。」 「トムがこわしたのは花びんです。」 「うちのネコが私のベッドで眠っているのを見つけた。」 「手紙を赤インクで書くのは失礼です。」 「若い頃怠けていたのを後悔しています。」 「カーテンを巻くのを忘れたのにちがいない。」 「私はテレビでボクシングを見るのが好きです。」 「その仕事に責任があるのは君ではなくて僕だ。」 「君が怒ったのは当然だ。」
合計		374	

*「英作文の基本文例集」は池田書店の「必修英作文の基本文例」(1989)であるが、現在絶版である

表 16 被修飾名詞が形式名詞「こと」の場合の例文の出典

	出典	例文数	例
1	英作文の基本文例集	78	「彼の言うことにも一理ある。」 「そのうわさは本当であることが分かった。」 「彼が大声で話すのは聞いたことがない。」 「母は息子から長いこと便りがなかった。」 「歩くことは健康にいい。」 「アメリカへ行ったことがありますか。」 「己を知ることは大変むずかしい。」 「もしもう1度フランスを訪れたら、3度行ったことになる。」 「なんとか遅れずに先方へ着くことができた。」 「今日はすることがたくさんある。」
合計		78	

B.1 提-説構文

ベトナム語では「提-説」構文がよく使われる (Cao X. H. et al. 2000)。「提」は文の主題であり、思考・認識の出発点である。「説」は「提」で設定された対象についてその内容を述べる。「提」の部分と「説」の部分は連結詞 [thì], [là] により結びつけられる。連結詞 [là] は「説」の部分が名詞/形容詞の場合に使われ、日本語の「だ・である (X は Y である)」と同様の役割を果たす (<105>)。「説」の部分が動詞/形容詞の場合は連結詞 [thì] が使われる (<106>, <107>)。口語では [thì] はよく省略される。このように日本語の名詞述語文のような場合だけでなく、広範な提-説文が作り出される。

<105> 犬は動物だ。 → Chó là động vật.
犬   だ   動物

<106> 太郎が働くのは勤勉。 → Taro làm việc thì chăm chỉ.
太郎   働く   である   勤勉

<107> 腐ったのは食べられない。
Cái đã hư rồi thì không ăn được.
の   過去   腐る   である   否定   食べる   可能

<106> に対して以下の <108> は提-説文ではなく通常の動詞文であるが、ベトナム語では提-説を明確にした <106> の提-説文の方が文が分かりやすくよく使われる。

<108> 太郎は勤勉に働く。 → Taro làm việc chăm chỉ.
太郎   働く   勤勉

B.2 単文

ベトナム語の語順は基本的に SVO 型であり、原則的には主語、目的語の省略は許されない。前節で述べたように主語のほかに主題を表現することがあり、TSVO 型の言語というべきかもしれない。その他の修飾要素に関しては概ね時が先頭に来て、主語、述語、目的語などの基本的な要素が順番に並んで、その後ろにその他の修飾要素が連なる (Diệp and Hoàng 2001)。

<109> 私は赤いリンゴを食べます。 → Tôi ăn trái táo đỏ.
S   O   V   私   食べる   リンゴ   赤い
S   V   O

<110> 象は鼻が長い。 → Con voi thì cái vòi dài.
T   S   V   象   (である)   鼻   長い
T   S   V

(1) テンス・アスペクト・否定

動詞に語形変化はない。テンス・アスペクトに関しては時制副詞を動詞に前置して表現する { đã (た), vừa/mới (したばかり), đang (しているところ), sắp (もうすぐ), sẽ (未来) }。否定は、否定詞 [không] を時制副詞と動詞の間に置いて表現する

{ 時制副詞 + 否定詞 + 動詞 }

<111> 私は行きませんでした。 → Tôi đã không đi.
私 過去 否定 行く

(2) ヴォイス

主観によって、2つの受身表現 (普通受身, 被害受身) がある。それぞれ動詞の前に副動詞 [được] あるいは [bị] を置いて普通受身 (<112>), 被害受身 (<113>) であることを表現する。

<112> 彼はほめられます。 → Anh ấy được khen.
彼 られる ほめる

<113> 私は叱られます。 → Tôi bị mắng.
私 られる 叱る

使役文は動詞の前に使役動詞 [bảo (言う)], [sai/khiến (命令する)] を置いて, [S + 使役動詞 + O + V] の形式で表現する。これらは使役者と被使役者の関係, 使役内容によって使い分けられる。

<114> 社長は彼を東京に行かせた。(命令的關係の場合)
Giám đốc đã sai/ khiến anh ấy đi Tokyo.
社長 過去 使役動詞 彼 行く 東京

<115> 母は子供に英語を勉強させる。(勧告的關係の場合)
Mẹ bảo con học tiếng Anh.
母 使役動詞 子供 勉強する 英語

(3) モダリティ

話者の判断・態度推量 [nhì (だろう)], 必要 [phải (なければならない)], 断定 [có lẽ (にちがない・かもしれない)], 意思 [muốn (たい)] などは助動詞を動詞の前あるいは後ろに置いて表現する。

<116> 試合が終わったかもしれない.

Trận đấu	<u>có lẽ</u>	đã	kết thúc.
試合	かもしれない	過去	終わる

B.3 複文

主節を S_{main} , 従属節を S_{sub} とすると, ベトナム語の複文は: $c_1 S_{sub} c_2 S_{main}$ の形をとる.
 c_1, c_2 は接続詞である. c_2 は省略される場合もある.

<117> いろいろな心配があるので, 寝られなかった.

<u>Vì</u>	tôi	có	nhiều	lo	âu	(<u>nên</u>)	tôi	không	ngủ	được.
ので	私	ある	色々	心配		だから	私	否定	寝る	可能
c_1	S_{sub}				c_2	S_{main}				

略歴

Nguyen My Chau: 1992 年ベトナム国立ホーチミン市教育大学外国語学部英語科卒. 1994 年ベトナム国立ホーチミン市総合大学 Nam Hoc 日本語クラス卒. 2002 年岐阜大学教育学研究科国際理解教育専修終了. 教育学修士. 現在同大学工学研究科電子情報システム工学専攻博士後期課程に在学中. 日本語-ベトナム語機械翻訳に興味を持つ. 言語処理学会学生会員.

池田 尚志: 1968 年東大・教養・基礎科学科卒. 同年工業技術院電子技術総合研究所入所. 制御部情報制御研究室, 知能情報部自然言語研究室に所属. 1991 年岐阜大学工学部電子情報工学科教授. 現在, 同応用情報学科教授. 工博. 自然言語処理の研究に従事. 情報処理学会, 電子情報通信学会, 人工知能学会, 言語処理学会, 各会員.

(2004 年 10 月 19 日 受付)

(2005 年 1 月 24 日 再受付)

(2005 年 2 月 27 日 採録)